

中央大学文学部 小林謙一考古学研究室

井出上ノ原遺跡 出土遺物展示会

福島県檜葉町の縄文・弥生遺跡発掘資料の地元への資料返却に伴う展示

2018/7/21(土)～7/27(金) ただし 7/22(日)を除く 10時～17時

中央大学文学部 3階 3308室 (3号館3階文学部事務室前ロビー横)

中央大学文学部では、小林謙一が科学研究費補助金によって2006・2007年に発掘調査した福島県檜葉町の井出上ノ原遺跡の資料整理をおこない、2012年度に調査報告書を刊行しました。通常は、調査報告書を刊行すると、出土資料は地元に移管しますが、2011年3月の東日本大震災とそれに伴う福島原発事故の影響により、2015年09月05日檜葉町避難指示解除およびその後の復興作業の状況により、檜葉町教育委員会・歴史民俗資料館の文化財保管施設の受け入れ体制が十分に整えられず、中央大学で保管してきました。2017年に福島県博物館において「福島の縄文時代」の特別展示に中央大学から貸し出したことをきっかけに、檜葉町への移管の準備が整えられ、このたび福島県檜葉町へ資料をお戻しすることとなりました。その返還のまえに、中央大学文学部にて資料展示をおこないます。

これら井出上ノ原遺跡の資料には、縄文中期の南東北を代表する複式炉住居から出土した土偶・石棒のほか、自然科学分析でデンプン加工の痕跡が認められた石器類や、詳しく年代を測定した炭化物試料があるほか、弥生時代の資料としても近くの国指定史跡の天神原遺跡の再葬墓と同種の弥生後期甕棺の土器など、地元地域の郷土史復元にも、また日本列島の先史文化を考える上でも貴重な資料が含まれています。ぜひ観覧してください。



45号住居床面（縄文時代）土偶出土状態 1号甕棺墓（弥生時代） 調査状況

小林謙一 kobayashikenichi22@gmail.com にメールで問い合わせか
3720 小林研究室（内線 3794）または 4354 考古整理室（内線 2814）まで。
考古整理室または日本史学研究室まで